

平成31年4月24日

東部農林振興センター 松江農業普及部

標 題 | ライスフィールド有限会社「美味しまねゴールド」現地審査

(ダイジェスト)

4月23日、県内初の美味しまね上位認証の現地審査が行われました。年明けより、農政
部と普及部で連携して指導に当たり、ライスフィールド有限会社も再々に渡り内部で協
議、書類作成に努力されました。7月下旬に審査会が行われ、取得が見込まれます。

4月23日に、松江市下佐陀町のライスフィールド有限会社において、県内初の美味しま
ね上位認証の現地審査が行われました。

ライスフィールド有限会社（以下、R F ㈱とする。）は、松江市の湖北地域を中心とし
て、水稻とWCS用稲、農作業受託を主体に約140haの経営を社長含む14名で展開されてお
り、美味しまね認証を平成29年3月に取得されました。

まず、昨年7月23日、松江市役所で開催された「松江市環境保全型農業直接支払交付金
に係るGAP研修会」に社長が出席され、その際の資料を元に社員教育が行われました。
年明け1月15日にJAしまね本店で開催された「GAP実践、指導力向上研修」にも社長
と中堅の社員、計2名で出席されていました。

その後、上位認証取得に向けて、日々の終礼時に小集団活動として、作業上で発生しう
るリスクの抽出や新たなルールづくりを行ったり、これまでの記録様式に加え、新たに必
要となった記録様式、想定されるリスク・頻度・対策が記載された圃場地図や作業場等の
レイアウト図、新規ほ場チェック表、作業資格一覧表等、数多くの書類作成に努力されて
きました。

上位認証については初めての対応になることから、農政部と普及部で連携し、美味しま
ね認証スタッフの助言、指導を受けながら進めてきました。

審査会は7月下旬に予定され、上位
認証取得が見込まれます。

当普及部では今後もR F ㈱への必
要に応じた対応を継続するととも
に、上位認証も含めた美味しまね認
証の取り組みを拡げるべく、農政部、
市、JA等関係機関とも連携し、積
極的に推進していく考えです。

